

# 北山川水系 北山溪 立合川 沢登り

～まぼろしの滝まで～

日時：令和5年8月26日（土）

メンバー：単独

使用したギア：基本装備＋ウエットスーツ、ライフジャケット。スタティックロープ8mm 40m、スローロープ10m、ハンマー、ピトン2枚

相棒が急に用事ができ、やむなく雰囲気だけでも見に行こうと無理しない程度で単独遡行することにした。8:05立合川橋を渡り、山道へ。上流側に少し進んだところから適当に沢へ下るが途中から断崖絶壁。山道に戻ること3回。沢までは結構な距離。4回目の下降でテープ発見！やっとなりて入渓できた、やれやれ8:50。ふじんぼ滝を越えてしまったようだがいずれにせよ巻きなので結果オーライ。入渓して少し進んだところによりきりや淵滝が現われた。右岸を巻く。滝上はきれいなナメ床に癒された9:30。その先はゴルジュ感満載の切り立った両岸で逃げ場はない。第2ゴルジュのはまつ滝は、爆流で直登不可。釜は流れに逆らって必殺壁際泳ぎで滝ギリギリの棚に這い上り、3mほど側壁を登り棚へ上がり荷揚げする。そこからさらに側壁を3m登ってみたが上部の岩が脆く壁が立ってきたので、やむなくピトン2カ所打って懸垂下降気味にクライムダウン。次に滝際の棚から、対岸にジャンプする作戦を考えザックを対岸に投げて、ジャンプ体制に入る時にザックが打ち寄せる波にあたり水の方に寄っていくのを見て思わず「待ってくれ～！」と叫んだがむなしく爆流に吸い込まれる。ザックどこまで流れるんじゃ～、待て～！へろへろになりながら棚に戻り別のもう少しマシな作戦を検討。足元はツルツルで頼りないがトラバースルートを見出すと4mほど先の方のテラスに残置ハーケン発見！滝を超え3m懸垂下降気味にクライムダウンし滝上に降り立つ。約1時間もかかってしまった。次の7m、銚子滝は泳ぎを交えながら越えていく。途中、極端に狭くなったところで泡立った爆流と格闘しながらなんとかまぼろしの滝35m到着11:45。帰りは、銚子滝手前まで戻りルンゼから山道へ。山道を30分ぐらいで到着するところポーっとしていたので通り過ぎたが旧山道から入渓できるところがわかった。約40分歩き立合川橋に戻る。13:20駐車ポイント着。



## 感想

泳いで対岸に渡り、滝場に取りつく場面がいくつかあった。水の流れを観察し、飛び込み、反転流を使って進んだり、岩の少しのくぼみや小さなホールドを伝って体が真横になりながら泳ぎで突破するのは面白い。でも、注意しなければいけないのがザックをロープで繋ぎ荷揚げする場面など水の中でロープやスリングを使うときに水流で足に絡んだり、岩間のストレーナーなどに引き込まれるリスクもあるので泳ぎ沢は自身の腰回りにロープやスリングなどできるだけ余計なものは外しておいたり、万が一の時に使用するナイフはすぐ取れる位置につけておくなど対策は必要だ。今回ナイフを忘れたのは反省点だ。最近各地で局的にゲリラ豪雨があり、ゴルジュに入る判断は難しい。今回、数日前にまとまった雨はあったので水量は多いと推測し、直前まで雨雲レーダーとにらめっこしてから行けると判断し入渓した。結果、夕方までは山域に雨は降らなかったようで増水せずホッとした。目的のまぼろしの滝は、大きな洞窟状になったところに約35mの滝がかかっていた、少し薄暗く不気味だが日差しが入ると何とも言えない幻想的な雰囲気醸し出していた。

